

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

飯野海運株式会社（証券コード:9119）

【新規】

債券格付 **BBB+**

【据置】

長期発行体格付 **BBB+**
格付の見通し **安定的**

■格付事由

- (1) 各種タンカー、ドライバルク船を主力とする外航海運会社。国内外で有力荷主を抱え、事業基盤が安定している。ケミカルタンカーでは世界有数の船隊規模を誇る。また、旗艦ビルである飯野ビルをはじめ都心部に5棟、英国ロンドンに1棟のオフィスビルを持つ。収益変動の大きい海運業と安定した賃料収入を得る不動産業を両輪とした事業ポートフォリオにより、業績のボラティリティを抑制している。
- (2) 業績はおおむね安定的に推移しており、21/3期以降は利益水準の上昇が見込まれる。海運業では、ケミカルタンカーの運賃市況の回復が鈍いものの、オイルタンカーおよび大型ガス船で中長期契約の積み上げが進んでいる。不動産業は、20/3期に飯野ビルにおける一部テナントの入れ替えに伴い減益となったが、21/3期はフル稼働に戻っている。また、今後も財務基盤の規律を維持していく方針であり、諸指標は一定の範囲内に収まる見込みである。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 21/3期経常利益は64億円（前期比85.2%増）と2期ぶりの増益が予想されている。大型ガス船の運賃市況上昇や飯野ビルの新規テナントからの賃貸収入増加などが増益の要因となる見込みである。22/3期以降も、海運市況の動向によって業績が変動することは避けられないと考えられるものの、不動産業からの安定的な利益を背景に、業績は底堅く推移すると想定される。
- (4) 21/3期第3四半期末の自己資本比率32.0%、DER1.8倍とおおむね横ばいで推移している。18/3期以降、フリーキャッシュフローの赤字が続き、有利子負債が増加しつつあるが、利益の蓄積に伴う自己資本の増加によりDERの悪化幅は限定的である。なお、般社の社債発行により調達される資金は、当社が参画する新橋田村町地区市街地再開発事業で建設中の日比谷フォートタワーの事業費に係るリファイナンスに充当される予定であり、財務内容に特段の影響を与えるものではない。

(*) 本件の格付対象のうち第2回無担保社債につきJCRはグリーンボンド評価「Green 1」を付与している。詳細については、ニュースリリース20-D-1313をご参照。なお、JCRのグリーンボンド評価は信用格付とは異なり、また、あらかじめ定められた信用格付を提供しまたは閲覧に供することを約束するものではない。

(担当) 千種 裕之・水川 雅義

■格付対象

発行体：飯野海運株式会社

【新規】

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	50億円	2021年3月18日	2024年3月18日	0.490%	BBB+

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：第2回無担保社債 2021年3月11日
長期発行体格付 2021年3月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「海運」(2011年12月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 飯野海運株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
 - ・ 格付関係者が提供した格付対象の商品内容に関する書類
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル